

令和6年度「地域づくり表彰」審査後の総評

本年度の審査を振り返りますと、最優秀賞にあたる「国土交通大臣賞」3事例を見ても、それぞれがユニークな方向性を持っており、「地域づくりとはこういうものでなければいけない」ということを先に決めることができない、あるいは類型化することの難しさに思い至りました。

「社会起業型」の健闘ぶりが目立った

「地域づくり」の取組を、仕組みや運営の方法で分けると、大きくは、住民や民間が主導する「社会起業型」と、既存組織や自治体との距離がかなり近い「委員会・会議型」に分類できますが、本年度は、住民・民間主導で活動を拡げていく「社会起業型」の健闘ぶりが目立っていたと思います。

早い時期から 担い手を広げていく工夫を組み込み

各事例から「地域づくりの取組を回す原動力とは何か」ということを考えますと、第一は「人のつながり」で、その形成の仕方の工夫により、担い手の範囲が拡大し、数が増え、結果として、取組の持続可能性につながっていたと思います。その点で、今年全ての事例に共通していることとして、早い時期から「担い手を広げていくこと」を強く意識されており、それが取組の拡がりや新たなアイデアの取り込みに繋がっていたように伺えました。

支援してもらえる「仕組みの工夫」にも注目

その上で、支援をしてもらえる「仕組み」の工夫も注目されました。取組を持続可能・発展可能なものにしていくために、株式会社の起業や、広く関係者を巻き込んだ協議会を立ち上げることなども、足元を固め、「地域ごと」を「わがごと」と考える主体を増やす観点から大切なことだと思えます。

特に今年度の優良事例では、自分たちだけでは手数(てかず)的に・ノウハウ的に難しい部分を冷静に認識し、こだわり無く積極的に外部の支援を受けた点が、活動の進展や成長にプラスに働いていた事例が多かったと感じます。また、その前提として、自分たちのコアな強みをうまく自覚されておられるとも思いました。

そのことが、活動の中心になっておられる方々の自信につながり、既存の枠組みや縦割りの壁を軽やかに乗り越え、「新しい公共」を生み出しているように感じました。

多様多彩な独自のコアと 様々な知見・経験・ネットワークを有する主体間の「共創の場」が生まれていた

近年の優良事例からは共通して、「足し算ではなく掛け算」＝同質なものの加算でなく、「異なるものの組合せ」から生まれる新たな発想・熟成が、地域づくりのイノベーションを生んでいることを改めて感じます。

とりわけ、「つながり」として「世代を超えたつながり」を意識した事例が多かったことも印象的でした。片利的でなく、やりがいや手応え等を通じ、双方の新たな交流意欲が自然と生まれている点も注目されます。

地域づくりのキーマンが、地域内外から、多様多彩な独自のコアを持ち、それぞれに様々な知見・経験・ネットワークを有する主体同士が交わる場所や機会を、積極的に・意識的につくることで、地域課題やアイデア実現の前に立ちはだかる壁の突破力が形成され、文字通り共に創りあげる「共創の場」が生まれていたように感じます。

「好き」「楽しい」「わくわく感」が 人を動かし、仲間を増やす

また、今年発表の中では、実施手段あるいは推進手法の中に「将来の夢」「地元のこれが好き」「やってみたい」「推し」「好き」が絡むものが多く見受けられ、「好き」「楽しい」「わくわく感」というキーワードが複数見られたことが印象的でした。地域課題が複合化し、人口減少で担い手の規模感が小さくなる中、仲間を増やすことの重要性がますます高まっており、これらは「地域づくり」のなかで、より大事にしていくべき要素になると思います。

「地域づくり」の終点は、地域課題の解決＝ソリューションを得ることではありますが、単に難しい問題が解決した・しないではなく、その過程で「特別な体験をする」「予想もしてなかった展開に出会う」ということが、取組の持続・発展や担い手の拡大に深く絡んでくるのだらうと思います。その意味からも、地域づくりは「明るく元気でいること」「楽しみながら取り組むこと」などのスタンスやプロセスが大事だと、改めて考えさせられた次第です。

「審査会特別賞」について

釜川地区の事例については、大学や各方面の専門家との協働・協業と「200年以上続く取組を目指す」という心意気に、また、新河岸地区の事例については、こどもを主役とし、運営側に次の担い手となる若い人を組み込んでいこうとする熱意に審査会として共感し、選定したものです。

受賞された皆様には、表彰を機に、ますますご活発な取組を期待申し上げるとともに、全国各地の皆様が各事例をご参照され、機会がありましたら各取組現場をご訪問される等、当事者の皆様との交流等を通じ、個性的で魅力あふれる地域づくりの輪が、一層広がっていくことを期待しております。